一般社団法人日本渡航医学会誌 投稿規定

1. 本学会誌は，渡航医学（旅行医学，トラベルメディスン）の様々な事項に関する投稿論文を受け付ける．渡航医学とは海外渡航に関連する健康問題，すなわち感染症，慢性疾患，救急疾患，航空医学的疾患，高山病，潜水病，長期滞在に伴う問題などにつき，それらの予防，診断，治療，公衆衛生対応などを広く学際的に扱う分野である．
2. 投稿論文は原著，症例報告，短報，総説などに分けられるが，他誌に未発表のものに限る．
3. 投稿論文の筆頭著者および連絡先著者は本学会員に限る．ただし，総説に関しては，編集委員会より本学会員以外の方に執筆を依頼することもある．筆頭著者は1名に限る．
4. 原稿については図表も含め，印刷原稿と電子データを提出する．
5. 筆頭著者および共著者全員分の利益相反自己申告書を提出する．利益相反に関する指針はホームページ（http://jstah.umin.jp/00COI/COI-guide.pdf）を参照．
6. 原稿送付先は下記とする．
   〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11 NCKビル
   編集室なるにあ内　日本渡航医学会事務局
   編集委員長　春木宏介 行
   E-mail：tramedjsth@narunia.co.jp
7. 投稿原稿の査読は2～3名で行い，最終的な採否の決定は編集委員長が行う．なお，編集委員長は必要に応じて，編集委員会に意見を求めることもできる．
8. 本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する．
9. 論文の別刷は著者負担とする．

編集委員長

春木　宏介　　獨協医科大学

編集委員

五味　秀穂　　航空医学研究センター
多賀　昌江　　北海道文教大学
田中　孝明　　川崎医科大学
徳丸　　治　　大分大学
波川　京子　　川崎医療福祉大学
牧　　信子　　日本航空株式会社
村上　雄一　　喜多医師会病院・愛媛大学

執筆要領

構　成

原稿作成

原稿作成は，パソコンのワープロソフトを用いて行う．用紙はA4版を用い，余白はすべて25 mmに設定する．原稿本体は表紙を含め，ページ番号を付ける．投稿は，印刷原稿とともに電子データをメディアに保存して提出する．使用ソフトはWord，Excel，PowerPoint等汎用のものとし，画像はPDFまたはJPGなどの形式とする．

原　著

(1) 表紙（和文・英文表題，著者，所属，連絡先）(2) 要旨（和文，英文），(3) キーワード（5～6語），(4) 序，(5) 方法，(6) 結果，(7) 考察，(8) 文献，(9) 図・表（説明含む），(10) 利益相反の有無　の順番とする．論文の長さは約8,000字までとするが，図表がある場合には，1点につき400字を引く．

症例報告

(1) 表紙，(2) 要旨（和文），(3) キーワード（5～6語），(4) 序，(5) 症例，(6) 考察，(7) 文献，(8) 図・表（説明含む），(9) 利益相反の有無　の順番とする．論文の長さは約5,000字までとするが，図表がある場合には，1点につき400字を引く．

短　報

(1) 表紙，(2) 要旨（和文），(3) キーワード（5～6語），(4) 本文（形式は自由），(5) 文献，(6) 図・表（説明含む），(7) 利益相反の有無　の順番とする．論文の長さは約5,000字までとするが，図表がある場合には，1点につき400字を引く．

総　説

(1) 表紙，(2) 要旨（和文），(3) キーワード（5～6語），(4) 本文（形式は自由），(5) 文献，(6) 図・表（説明含む），(7) 利益相反の有無　の順番とする．論文の長さは約8,000字までとするが，図表がある場合には，1枚につき400字を引く．

数量単位

SI国際単位を基本とし，m，cm，mm，μm，nm，L，dL，mL，μL，kg，mg，μg，ng，pg，℃，%，hr，

Presented by Medical*Online

min, sec などを用いる．℃，％ではその前の数値との間にスペースを入れないが，他の場合に半角スペースを入れる（例：100 mg，60 kg）．

文献引用

本文中あるいは図表の説明で引用した順番に，引用個所に右片カッコで上付きで表示する．

体　裁

表　紙

表紙には，論文のカテゴリー（原著，症例報告，短報，総説），表題，著者名，所属機関名，連絡先著者の氏名，所属機関，住所，電話番号，ファクス番号，電子メールアドレス，査読領域・分野を記載する（査読領域・分野は以下の表を参照）．

文　献

引用文献の記載は数字の順番に行う．基本的にバンクーバースタイルを採用するが，著者が 6 名以内であれば全員，7 名以上であれば 6 名の後に“他”あるいは“et al.”とする．

・和文雑誌論文

宮村和夫，日谷明裕，木村幹男．わが国における旅行医学の質の向上を目指して —海外における取り組みから学ぶ．日本医師会雑誌 2005; 134: 1763–9.

・英文雑誌論文

Hill DR, Ericsson CD, Pearson RD, Keystone JS, Freedman DO, Kozarsky PE, et al. The practice of travel medicine: guidelines by the Infectious Diseases Society of America. Clin Infect Dis 2006; 43: 1499–539.

・和文単行書

木村幹男．マラリア（バベシア症を含む）．山口徹，北原光夫，福井次矢 総編集，今日の治療指針 2006 年版，医学書院，東京，2006; p.178–80.

・英文単行書

Wilde H. Rabies vaccine. In: Jong EC, Zuckerman JN ed. Travelers' Vaccines. BC Decker, Hamilton, 2004; p.200–18

・ウェブ

Centers for Disease Control and Prevention. Travelers' Health. Vaccinations. <http://www.cdc.gov/travel/vaccinat.htm>（2007 年 4 月 12 日アクセス）

図の説明文，表題

図の説明文や表題は「文献」の後にまとめて，図の順番に記載する．

図（あるいは写真）

図（あるいは写真）はディジタル化して原稿本体に含めるか，別添とする．これらは白黒オフセット印刷可能なものとし，写真の場合には裏側に鉛筆で筆頭著者名と図の番号を記す．

査読領域・分野

投稿論文の領域・分野を下記から選び，表紙に記載してください．

1. 渡航医学一般	2. ウイルス感染症	3. 細菌感染症
4. 寄生虫感染症	5. その他感染症	6. ワクチン
7. 症　例	8. 生理学	9. 登山医学
10. 航空医学	11. 潜水医学	12. 内科系
13. 外科系	14. 救急医療	15. 看護学
16. 薬　学	17. 医療通訳	18. 観光医療
19. 温泉医学		
20. その他		
20-1）海外旅行保険・医療保険	20-2）緊急医療搬送	20-3）外国人診療
20-4）医療の質	20-5）検疫関連	20-6）公衆衛生
20-7）産業医学	20-8）社会医学	20-9）勤労者医療
20-10）産業保健・海外赴任者健康管理	20-11）小児科一般	20-12）小児感染症
20-13）東洋医学	20-14）メンタルヘルス	20-15）難民・移民医療
20-16）テロ，NBC	20-17）上記以外［　　］	

Presented by Medical*Online

様式２

利益相反自己申告書（学会誌）

日本渡航医学会

日本渡航医学会の利益相反指針に基づいて、下記論文に関連する過去3年間の企業や営利団体との利益相反状態を申告いたします。

論文名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

筆頭著者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申告日 ＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日＿＿＿＿

著者全員の氏名（自署）	申告者または配偶者、一親等以内の親族、財産を共有する者の利益相反	役員・顧問職	株式	特許使用料	コンサルタント・講演料	原稿料など	研究費など	旅行贈答品など	寄付講座
		100 万円以上	利益 100 万円以上	100 万円以上	50 万円以上	50 万円以上	100 万円以上	5 万円以上	企業団体名および寄付講座名
(例)渡航太郎	(有)・無					○			
(例)渡航花子	(有)・無								○○○製薬 渡航医学講座
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								
	有・無								

Presented by Medical*Online